

かもめ広場 インクルーシブな子ども広場づくり ワークショップ

第4回 NEWS

福岡市 住宅都市みどり局 みどり推進部 みどり整備課

テーマ：かもめ広場の将来を描こう！

■日時：令和7年3月25日（火）19:00～21:00

最終回の4回目では、これまでに出た意見をもとに検討した集約案をお見せしました。港だからこそ感じられる眺望や豊かな自然、子どものあそび場としての良いところはそのままに、より「かもめ広場らしいインクルーシブな子ども広場」にするためのアイデアを出し合いました。また、再整備された遊び場の理想的な姿や使い方についても話し合いました。

前回の振り返り

前回のワークショップでは、計画地の利用イメージをもとに、事例写真などを見ながら「かもめ広場の目指すインクルーシブな広場とは何か」についてアイデアを出し合いました。

また、遊びの支援として、障がいの有無にかかわらず様々な特定の子どもに対応していく必要があるインクルーシブの重要性についてもお話ししました。

インクルーシブな子ども広場の定義

誰もが お互いを理解し
安心して笑顔で
自分らしく遊ぶことができる場所

かもめ広場における、 インクルーシブの意味を考える

- かもめ広場は地域に非常に愛されて築きあげられてきた空間で、広い芝生広場を地域の利用者は大切にしており、今ある良さに魅力をプラスしてより良くしていく
- 限られた敷地の中に新しいものを入れて何かを両立させるのは難しい
- 様々な子どもが身体的能力に合わせて楽しめる遊び場や、高齢者がゆっくりできるテラス・日陰・健康遊具などを計画し、利用者層を増やす
- みんなで花壇管理をするなど、地域が参加しやすくなる仕掛けや、トイレやスクリューのモニュメントなどを利用したアートの取り入れ

岸壁や、イベント広場を含めた 範囲で維持管理・運営を考える

- 管理者や維持管理、運営条件を整理
- 海寿会、福岡市、まちづくり協議会、地域住民で、管理やメンテナンスの役割分担をすることで、管理する人が変わっても持続する仕組みが必要
- 施設の維持管理やゴミ問題、浮浪者のトイレ占有問題など様々な課題に対して取り組んでいくことが必要
- 5年後、10年後、その先も地域に愛される場所にするため、イベントの運営・企画を恒例化していきたい



広場の利用イメージ

■ワークショップ全体の流れ

第1回 令和7年2月2日（日）10:00～12:00
「港の魅力を見つけ、インクルーシブな子ども広場について知ろう！」
現地確認をして感想を話し合う

第2回 令和7年2月4日（火）19:00～21:00
「かもめ広場の目指す姿を想像しよう！」
「ならでは」のインクルーシブを考え合う

第3回 ■平日の部 ※内容はどちらの部も同じ
令和7年2月27日（木）19:00～21:00
■休日の部
令和7年3月2日（日）10:00～12:00
「かもめ広場の方向性を考えよう！」
計画案のたたき台について意見し合う

第4回 令和7年3月25日（火）19:00～21:00
「かもめ広場の将来を描こう！」
計画案のまとめ

■当日（3/25）のプログラム

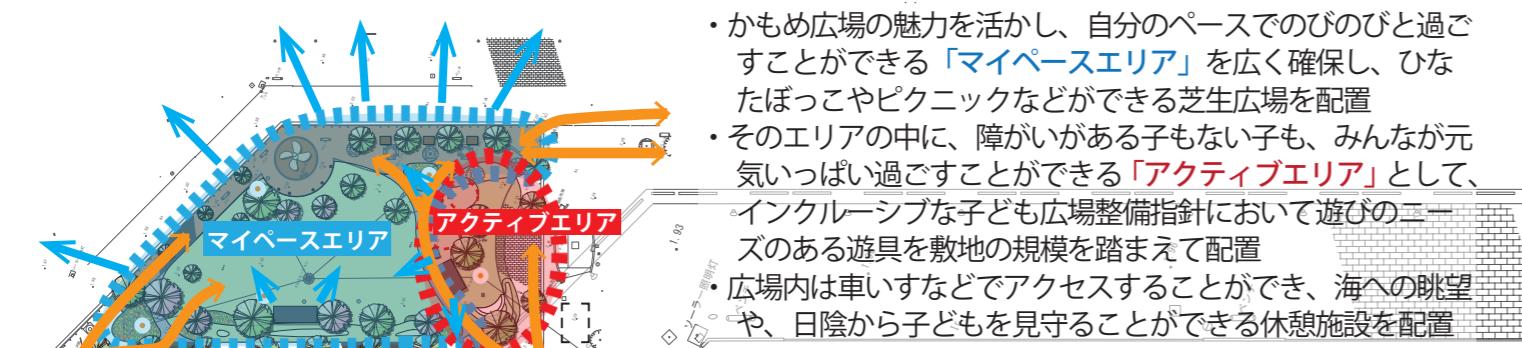
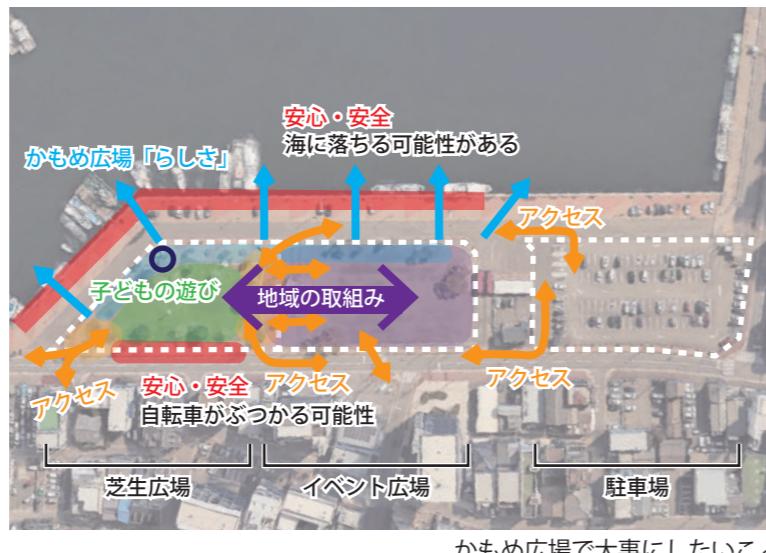
- 開会・はじめに
- 前回の振り返り・自己紹介
——ワーク①——
- 「最終プランの確認」
〈休憩〉
- ワーク②——
- 「完成後の広場の使い方をみんなで話し合おう！」
- 講評（まとめ）
- 閉会



ワークショップのようす

ワーク①最終プランの確認、ワーク②完成後の広場の使い方をみんなで話し合おう！

これまでのワークショップやアンケートでのご意見から、かもめ広場での今の雰囲気や良さを損なわないように、広い範囲で見たかもめ広場は「どのようなインクルーシブな広場になったらいいか」をみんなで話し合いました。



- かもめ広場の魅力を活かし、自分のペースでのびのびと過ごすことができる「マイペースエリア」を広く確保し、ひなたぼっこやピクニックなどができる芝生広場を配置
- そのエリアの中に、障がいがある子もない子も、みんなが元気いっぱい過ごすことができる「アクティブエリア」として、インクルーシブな子ども広場整備指針において遊びのエリアのある遊具を敷地の規模を踏まえて配置
- 広場内は車いすなどでアクセスすることができ、海への眺望や、日陰から子どもを見守ることができる休憩施設を配置

3 幅と奥行きの広い縁台ベンチ 横断防止柵 (高さ 80 cm)



■ワーク①「最終プランの確認」で出た意見

配置計画について

- 芝生広場（マイペースエリア）と子どもの遊び広場（アクティブエリア）がゾーンで区分けされていて良い
- 車いすの方もアプローチできるようにパーゴラを配置する

子どもの遊びについて

- すべり台は良い
- 舗装部分にケンケンパができる塗装をするなど、遊具を設置せずに子どもに自由な遊びをさせるのはどうか
- 百道中央公園にあるミストが出て熱中症防止になる遊具があつたら良い

眺望について

- すべり台の築山を海側に配置するか、スクリューのモニュメントを高くして海への眺望を確保してはどうか

施設について

（健康遊具）

- 地域の高齢者のための健康遊具を設置してほしい

（舗装）

- 園路はゴムチップ舗装にしてはどうか
- 海側のハード舗装の面積を減らして、芝生広場をもっと広げてほしい

（トイレ）

- ボール遊びができるような壁にしてほしい
- 既存のトイレの隣にバリアフリートイレを新設する場合、構造物が連続して建つことになるので、既存のトイレを建て替えた方が良い

（パーゴラ）

- 日陰になるパーゴラはありがたい
- パーゴラの下は細長いベンチではなく縁台ベンチの方がおむつ替えなどの時に保護者が助かるのではないか

広場の利用について

- 今後、インクルーシブな子ども広場として整備して、本当に車いす利用者などに利用されるのか
(他の広い公園で整備した方が良いのではないか)



■ワーク②「完成後の広場の使い方をみんなで話し合おう！」で出た意見

花壇管理について

- 芝や花壇のメンテナンスは誰がするのか
- 花壇を設置しても管理をする人がいなく、みすぼらしくなってしまう
- 既存の散水栓は船用なので水やりをするには散水栓が必要
- 花を植えるではなく菜園でも良いのではないか
- 花があると、カラスが来るなどの管理上の問題がある
- 子どもが花を植えることは、感受性を育む機会などにもつながる

管理者について

- 公園課と漁港課が協力してほしい
- りすのこスクエアの芝生広場は従業員が管理をしているが、かもめ広場は愛護会がない（公園ではない）ので維持管理が難しい
- 現在イルミネーションはまちづくり協議会が管理しているが、電気代は市で管理してほしい

ルールについて

- 公園のような注意書きやルールが必要（サインの設置）
- 広場内は禁煙にした方が良いのではないか
- ハード舗装を増やすとスケートボードをする人が来ないか心配

樹木について

- 花壇を設置できない場合は、広場を華やかにするためにサクラを植栽してはどうか
- 西公園とのつながりをつくるためにサクラを植栽
- シノキなど、実が食べられる樹木を植栽してはどうか

アクセスについて

- これだけ綺麗になるのであれば、より多くの人に利用していただきたいので、かもめ広場に来るまでの周辺の環境整備も必要ではないか
- 現在セブンイレブンの前と北側のしゅんよう保育園の前にしかかもめ広場への横断歩道がないので、九州製氷辺りに横断歩道に設置することで、遠回りせずに子どもがより集まりやすくなるのではないか



講評（まとめ）

全4回のワークショップでのみなさんの意見を通して、リニューアル後の広場のあり方を踏まえたかもめ広場の大きな方向性が見えてきました。これらの構成をもとに具体的な設計を進めています。

①周辺とのつながりを大切にする

- ・地域の子どもなど、より多くの人が利用し、集まるためのかもめ広場周辺を含めた環境整備が必要。

②「施設の要素」と「自然の要素」のバランスを大切にする

- ・舗装や遊具、トイレなどの「施設の要素」と、緑豊かな芝生や樹木などの「自然の要素」のバランスを大切にし、現在のかもめ広場の良さを損なわない空間構成が必要。

③より良い広場になるためのルールを大切にする

- ・芝生や花、樹木の管理やボール遊びや喫煙対策などの広場利用のルールを地域で話し合い、より良い利用ができるようなルールづくりが必要。



まとめのようす

ワークショップのようす



これまで貴重なご意見を
いただいた、
ワークショップに参加さ
れたみなさま、
またアンケートにお答え
いただいたみなさま、
ご協力大変ありがとうご
ざいました！

今後のスケジュール（予定）

2025年	2026年
基本設計 →	今ここ！
実施設計 →	
工事：2026年春頃まで	リニューアルオープン

今回のワークショップのご意見を反映した「リニューアル案」が
まとまりましたら、みなさまにお知らせいたします！



リニューアル案の図面やCGパースのイメージ

リニューアルする新しいかもめ広場の
完成をお楽しみに！

[担当・お問い合わせ]
福岡市住宅都市みどり局みどり推進部みどり整備課 柴田・田崎
TEL：092-711-4410 MAIL：shibata.s15@city.fukuoka.lg.jp